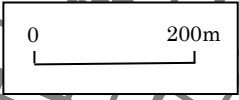
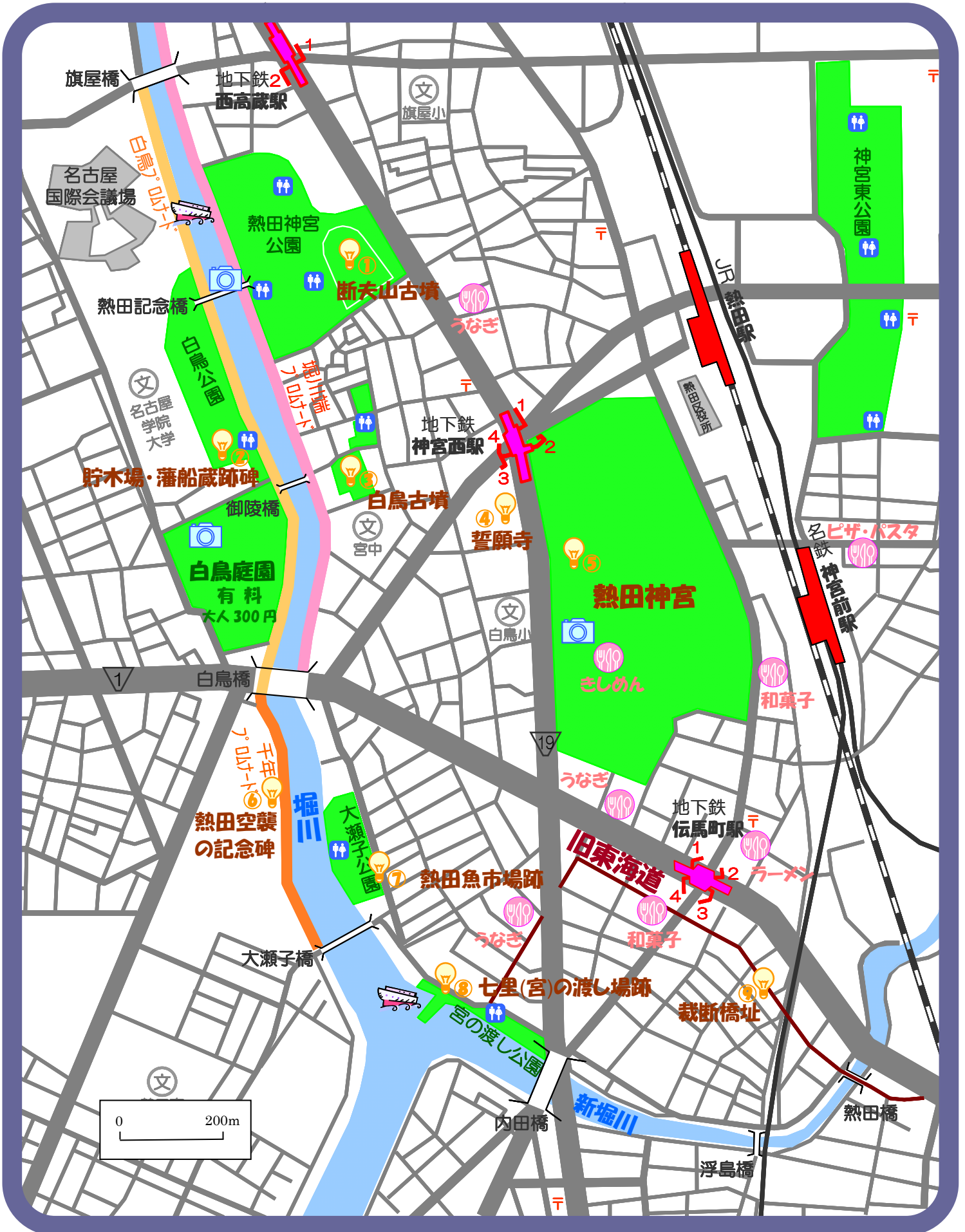


宮の渡しエリア てくてくマップ



💡 こんな場所だよ！

① 断夫山古墳

東海地方最大の前方後円墳。ミヤスヒメ(ヤマトタケルノミコトの妃)の墓とも伝えられているが、この地方の豪族の墳墓とされている。

② 貯木場・藩船蔵跡碑

名古屋城築城の際、木材置き場として作った広大な池(貯木場)と藩の軍船の係留基地跡の碑。

③ 白鳥古墳

伝説では、ヤマトタケルノミコトの墓とされているが、現在は原形をとどめていない。入口の階段下には、本居宣長の歌碑がある。

④ 誓願寺

この寺の地は、もともと熱田神宮大宮司の別邸であった。鎌倉幕府を開いた源頼朝の父親である義朝は、熱田神宮大宮司の娘をめとった。寺の境内には、頼朝の産湯を汲んだといわれる井戸が残っている。

⑤ 熱田神宮

三種の神器の一つである草薙の神剣を祭る。ヤマトタケルノミコトは、駿河国の野原で賊徒に四方から火を放たれ攻められた時、この神剣の不思議な力で危難を免れたといわれている。熱田神宮には、西行伝説の二十五丁橋、信長塀、佐久間灯籠など多くの文化的な遺産が残されている。

⑥ 熱田空襲の記念碑

昭和 20 年 6 月 9 日、この一帯は米軍機の空爆をうけた。当時の堀川の護岸には、その惨劇の跡が残っており、護岸をつくり変えた時にその一部をモニュメントとして設置した。

⑦ 熱田魚市場跡

織田信長が清須在城の頃(1555~1562 年)より、すでに熱田の地には魚問屋があり、毎日魚を清須に輸送していた。寛永年間(1624~1644 年)に尾張藩は木之免、大瀬子に魚市場を置き、近海はもちろん諸国からの魚も送られてきて、たいそう賑っていたという。

⑧ 七里(宮)の渡し場跡

東海道の「宮の宿」から、次の宿の「桑名」までは、海上七里の船旅であった。渡し場には、常時 75 隻の船が準備され、船賃は 35 文(高い時は 45 文)であった。午前 6 時から午後 4 時まで、乗船することが許された。船旅をきらう旅人は、陸路で佐屋街道を通り桑名に向かった。

⑨ 裁断橋址

精進川に架かっていた橋の址。川が埋め立てられ、縮小復元された。

1590 年、豊臣秀吉の小田原攻めで戦死した子の母は、子への想いをこの橋の擬宝珠に刻んだ。当時の擬宝珠は、市指定文化財として市博物館に所蔵。

マップの記号



なにか新たな発見があるかも？スポット



ちょっといい風景かも！



名物やおいしいもののお店



公衆トイレ

Memo